

# 令和7年度学校自己評価システムシート (県立越谷南高等学校)

目指す学校像	「文武両道」をとおして「知・徳・体」の調和を実現し、目標を高く持って社会に貢献する人材を育てる学校
--------	---

重点目標	1 授業を第一に位置づけ、PISA タイムや ICT 活用による授業改善・教材開発を推進し、生徒が実感できる確かな学力の向上を確立する。 2 自主性を育むメリハリのある生徒指導やきめ細かな進路指導を充実させ、学校行事や部活動など「文武両道」に基づく豊かな人間性を育成する。 3 外国語科の特性を生かし、異文化理解を深め、語学力を向上させ、主体的にコミュニケーションを図ることができる生徒を育成する。 4 人材派遣等を含め地域活動における連携・協力を深め、本校の魅力を積極的に発信するなど開かれた学校づくりを推進し、公共心や社会性が豊かな生徒を育成する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	9名

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 ( 1 月 3 0 日 現 在 )		
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 1 月 3 0 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>【現状】PISA タイム実施から3年経ち、読解力、表現力の模試の結果が向上する等成果が出始めている。Chromebookの導入は4年目となり全学年が所有し、HR 連絡や課題提出だけでなく、生徒総会等の場面でも活用している。</p> <p>【課題】 ・PISA タイムの課題について、読解力、表現力等の向上を目指し改善を図る。 ・2・3年生のステイプリアの利用率が低いため、更なるICT活用を向上させると共に自主的な学習の動機付けになるようステイプリアを活用する。</p>	<p>授業を第一に位置づけた授業改善・教材開発の推進</p> <p>自主学習を含めた確かな学力の向上の確立</p>	<p>①PISA タイムの工夫改善、ICT活用による授業改善を推進する。 ②生徒による授業評価アンケートを毎学期、授業公開週間を年2回実施する。</p> <p>①授業第一主義を最優先とし、進路実現に向け学力向上を実感できる授業を実践する。 ②家庭課題やステイプリアを有効活用し、自主学習の動機付けをする。</p>	<p>①PISA タイムや ICT 活用の授業改善や教材研究が推進しているか。 ②生徒による授業満足度、教員相互の授業見学率が向上したか。</p> <p>①教員の進路研修参加者数、生徒の模試平均点が向上したか。 ②生徒の自主学習時間、ステイプリアの視聴時間が増加したか。</p>	<p>①生徒の PISA タイムを意欲的に取り組めたかの回答で 87%以上ができたこと回答している。 ②授業公開週間を年2回実施し、昨年度より多くの方に参加してもらえるよう実施方法を改善した結果、ほとんどの先生が授業見学を行った。</p> <p>①教員に対して予備校主催の研修会の参加を奨励し、長期休業を利用して研修に参加した。 ②ステイプリアの生徒視聴時間は、昨年の 2/3 程度に減少した。教員の配信数も減少している。</p>	A	<p>○令和9年度高校入試改革や高校授業料無償化、急激に進む少子化等を見据え、文武両道を堅持する方策の検討が課題となる。 ○教員向けステイプリア研修会などを計2回実施した。また、2,3学年教員を対象に専門学校研修会、3年生教員を対象に推薦情報交換会、出願指導研修会等も行った。 ○ステイプリアの運用について積極的に利用を促すことが求められ、教科だけでなく学年や分掌と連携をして行っていく必要がある。</p>
2	<p>【現状】時代の変化に合わせ、生徒心得や制服等の見直しを図っている。生徒の基本的な生活習慣は概ね良好である。部活動の加入率は90%以上となり、部活動だけでなく生徒会等の学校行事にも積極的に参加している。</p> <p>【課題】 ・学校行事や部活動等の場面における時代の変化に応じた生徒指導の更なる推進を図る。 ・進路実現をさせるため、自ら学ぶ態度を育て、主体的に学ぶ習慣を身に付けさせる。</p>	<p>時代の変化に応じた生徒指導の推進</p> <p>きめ細かな進路指導の充実</p>	<p>①規制を緩和しながら、生徒自身が適切な行動選択できる環境を整える。 ②生徒自身が行事を運営し、主体的に参加できる企画を実現する。</p> <p>①3学年の面接・小論文指導等を学年団を越えて全体で分担する。 ②全員必須の模試に加えて、難関希望者への模試受験を奨励する。</p>	<p>①自浄作用のある集団として、生徒指導事案を抑止できたか。 ②生徒によるアンケートで学校行事への充実度、満足度が昨年度を上回ることができたか。</p> <p>①教職員全体で進路指導方針を共通理解し、進路指導の充実度、満足度を向上させることができたか。 ②国公立、難関・中堅私大の合格者数が昨年度を上回ることができたか。</p>	<p>①制服の見直しを実施し、令和8年度より夏服のスカフスの色を変更するとともに、ボロシャツ導入を決定した。 ②進路活動が円滑に行えるように予餞会実施時期を変更し、企画運営した。その結果学校行事のアンケートの回答は昨年度より上昇した。</p> <p>①学年の垣根を越えて、全職員で3年生の面接や小論文指導に取り組んだ。 ②現在、入試の結果待ちの状況。1月16日に共通テスト説明会を実施した。</p>	A	<p>○今後も継続して、校則に関しては時代に合うように見直しを図っていく必要がある。 ○評価指標の結果に関わらず授業改善を図り、学力だけでなく自ら学ぶ生徒の育成を目指していく。また、毎年変化する入試の情報収集及び研修会等を行う必要がある。</p>
3	<p>【現状】海外語学研修だけでなく、検定試験やコンテスト参加等精力的に取り組み、成果を上げている。外国語科の特色ある取り組みを推進している。</p> <p>【課題】 ・外国語科の授業では特にアウトプット活動の能力伸長を図っているが、羞恥心の克服や意見を表明できる態度の育成に課題がある。 ・外国語科で培ってきた異文化教育の知見を普通科にも波及させる。</p>	<p>外国語科の特色ある取り組みを生かした異文化理解の推進</p> <p>主体的にコミュニケーションを図ることができる生徒の育成</p>	<p>①ALTと連携を図った授業を推進する。 ②海外への留学事業等の活用と、海外からの留学生受入を推進し、異文化理解を推進する。</p> <p>①英語及び第二外国語の検定やコンテストに積極的に参加する。 ②外国語科のノウハウを普通科に波及させ、更なる異文化理解を推進する。</p>	<p>①常駐の2名のALTと連携を図った授業を実施できたか。 ②海外への留学希望者、海外からの留学希望者が増加したか。</p> <p>①検定やコンテストへの参加、英語劇の取組により、語学力が向上したか。 ②オーストラリア語学研修への普通科生徒の参加が増加したか。</p>	<p>①外国語科は週に2~3回程度、普通科1,2年では1回程度、ALTとのTT授業を実施した。 ②3クラスで4人の留学生を受け入れ親睦を深めた。</p> <p>①英作文コンテスト2名入賞、英語スピーチコンテスト出場、英語劇においてプロを招いてワークショップを実施した。 ②令和8年度オーストラリア語学研修は現在20名が参加予定。そのうち普通科の生徒は6名。</p>	A	<p>○英語劇・英語プレゼンテーションなどの発信型の活動はこれからも継続して取り組む。校内スピーチコンテストは計画通り実施した。今後もALTときめ細かく打ち合わせ、指導方法やルールを検討し、ブラッシュアップすることが必要である。 ○今後も豪州への海外研修を続ける方針だが、経済の高騰やの社会状況の変化に合わせた柔軟な対応が求められる。</p>
4	<p>【現状】学校HPやSNSを定期的に更新し情報を発信している。コロナ禍が明けて地域連携事業も徐々に再開したが、関わる生徒がまだ少数である。</p> <p>【課題】 ・教員一人一人が意識を持ち学校説明会や地域交流を実施する。 ・中学生等のニーズに対応し、学校HP内のブログ更新や公式Instagramで情報発信し、閲覧数やフォロワーを増やすとともに、学校説明会や地域の説明会で早期の説明機会を確保することが課題である。</p>	<p>生徒派遣を含めた地域活動における連携・協力の強化</p> <p>本校の魅力に関する積極的な情報発信による開かれた学校づくり</p>	<p>①学校公開日や文化祭、部活動の発表等を周知すると共に、地域イベント等に生徒派遣も含め参加する。 ②近隣の幼保小中高や他機関と連携し開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>①学校HP内のブログや、SNS(インスタ)の更新を増やす。 ②中学生のニーズに合わせた学校説明会等の内容の見直しを図る。</p>	<p>①学校公開等の来校者数が昨年度を上回ることができたか。 ②近隣の学校や他機関との交流、連携した取組ができたか。</p> <p>①学校HPのアクセス数が増加し、SNSのフォロワー数が増加したか。 ②学校説明会の開催時期や受入数の改善を図り、中学生によるアンケートで学校説明会等の説明内容に、概ね好評の回答を得られたか。</p>	<p>①授業公開は300組600名以上が参加し、夏の部活動体験は延べ400名程度が参加した。 ②保育園、小学校(英語交流)と本校3年生が交流を行ったが、中学校との連携事業は実現することができなかった。</p> <p>①HPのブログについては毎日更新ができている。SNSは4月当初に比べ700以上フォロワー数を伸ばした。 ②学校説明会は小規模8回(二部制)、大規模1回(二部制)で行う形に変更。更に希望者多数のため追加募集も2度行い、総計2,000組4,000名以上の申込みに対応した。</p>	B	<p>○Instagramの積極的な利用を教務部や生徒会の協力により、行っているが、業務の片寄りが出ないよう運用方法に改善の余地がある。部活動や生徒と連携を、より多くの投稿ができるような仕組みを構築したい。 ○昨年比で、志願者数が減少している。入試終了後に数値を分析し、来年度の生徒募集業務につなげることが課題である。</p>

学校関係者評価	実施日 令和8年2月3日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>○部活動や進路活動への取り組みに関してのアンケート結果から文武両道が実現されていることが見て取れる。 ○PISA タイムのアンケート結果もとても良い。生徒たちが意欲的に取り組んでいる事が良く分かる。 ○学校生活全体を通して生徒の満足度が高いことが見て取れるが、アンケートの集計方法に改善の余地がある。単に棒グラフを用いて提示するのではなく、5段階評価の平均値をとって提示すべきだ。</p> <p>○越谷南高校では自然と挨拶のできる生徒が多く生徒指導が行き届いていると感じた。中学と高校での挨拶運動に関する連携が行えたり良いと思う。 ○小中一貫で子供を育てる時代であるが、その9年間を基礎にして協調学習や協同作業ができていた様子が見られた。義務教育を超えた高校教育においても一貫した教育ができていたと感じた。</p> <p>○オーストラリア語学研修は費用が高額で保護者の負担も大きいが生徒たちにとって有益で貴重な経験となるのでぜひこれからも続けてほしい。 ○マレーシアの大学の指定校が加わったことは素晴らしい。進学へ向けての指導が大変かと思うがぜひ頑張ってほしい。 ○AIを有効に高校の教育活動に取り入れていくかを考える時期に来ていると思う。英作文の添削やスピーチコンテストの原稿等に役立てることができれば、教員の負担も減らしつつも生徒の能力を高めることができるのではないかと。</p> <p>○小学生と高校生の英語交流においては非常に良い刺激を得た。昨年度の内容を変更し、今年度は高校生との対話を多く取り入れたところ、児童だけでなく教員からの高評価だった。是非今後もこのような取り組みを続けてほしい。 ○他校の取り組みで学校周辺のゴミ拾いを行っている様子を見たことがある。本校でも部活動等で、そのような取り組みを行えば、地域との連携だけでなく生徒募集にも繋がるのではないかと。</p>

